2025年9月16日
三井不動産商業マネジメント株式会社
東京大学大学院新領域創成科学研究科
福島県相馬郡新地町

【三井ショッピングパーク ららぽーと柏の葉】

東京大学柏キャンパス×福島県相馬郡新地町×ららぽーと柏の葉
『東京大学フェア』を開催

東京大学大学院新領域創成科学研究科による、福島県相馬郡新地町における持続可能なまちづくりへの取組みを、東日本大震災から14年が経過した新地町の復興の歩みとともに発信

期間：2025年9月27日(土)～ 9月28日(日)
開催場所：ららぽーと柏の葉

三井不動産商業マネジメント株式会社(所在：東京都中央区、代表取締役社長：大林 修)が運営する三井ショッピングパーク ららぽーと柏の葉、東京大学大学院新領域創成科学研究科(所在：千葉県柏市、研究科長：伊藤耕一)、福島県相馬郡新地町(所在：福島県相馬郡新地町、町長：大堀 武)が連携し、2025年9月27日(土)～ 9月28日(日)の期間、ららぽーと柏の葉で「東京大学フェア」を開催いたします。

ららぽーと柏の葉と東京大学大学院新領域創成科学研究科は、柏の葉キャンパス地域の近隣施設として、地域のコミュニティ強化・魅力向上を目的として、さまざまな活動を行っております。
その一環として、東京大学大学院新領域創成科学研究科が福島県相馬郡新地町において取り組む「公・民・学共創による持続可能なまちづくりを通じた復興知人材育成事業（復興知事業）」について、東日本大震災から14年が経過した新地町の復興の歩みとともに紹介するイベントを、昨年に引き続きららぽーと柏の葉で開催することになりました。さらに今回は、同研究科の活動地域のひとつである石川県七尾市能登島も参加し、被災地が直面する課題や復興の現状を発信します。ともに大震災を経験した2つの地域がららぽーと柏の葉に集うことにより、来場者のみなさまに「震災の記憶を未来へつなぐこと」「地域同士が学び合い支え合うこと」の大切さをお伝えするとともに、防災への備えの重要性を考える機会を提供します。また、二つの地域がこれをきっかけに連携し、復興の知恵や経験を共有することは、震災の記憶を未来へ継承し、被災地同士の連帯から新たな知を創出する契機となります。

イベントでは、福島県新地町、石川県七尾市能登島の復興の軌跡をたどるパネル展示や、新地町出身の震災語り部・村上美保子氏による、新地町を舞台にした紙芝居「津波から身を守るヒミツの合言葉～もしも津波がきたら…！命を守るてんでんこの教え」を上演し、防災の大切さを伝えます。福島県の浜通り地域においては、今も避難生活を続ける方々がおり、その事実に意識を向けることの重要性を発信いたします。
また、東京大学柏キャンパスで行われている研究の紹介や、東大グッズの販売も館内にて実施いたします。

主催：ららぽーと柏の葉
共催：新地町、東京大学大学院新領域創成科学研究科
協力：相馬広域連携協議会、HAMADOORI CIRCLE PROJECT, 柏の葉アーバンデザインセンター、東京大学消費生活協同組合
後援：東京大学柏キャンパス

【ららぽーと柏の葉】

【東京大学柏キャンパス】

※掲載内容は予告無く変更になる場合がございます。※詳細は施設ウェブサイトをご確認ください。※画像はイメージです。

【東京大学フェア】
東京大学柏キャンパス×福島県相馬郡新地町×らぽーと柏の葉

①福島県相馬郡新地町、石川県能登島のイベント
開催期間：2025年9月27日(土)～9月28日(日) ※28日は10:00～17:00
開催場所：らぽーと柏の葉　本館2階クリスタルコート、本館1階東急前スペース

■新地町、能登島のパネル展示
震災で被災した新地町、能登島の復興の軌跡をたどる
パネル展示を実施いたします。

■震災語り部 村上美保子氏による紙芝居【両日とも14:00～14:20】
津波から身を守るヒミツの合言葉
～もしも津波が来たら…！命を守る「てんでんこ」の教え～

村上美保子氏：町内で経営していた旅館「朝日館」は津波により全壊。震災後は仮設住宅に住む町民を中心に手芸教室を展開するほか、震災の語り部として活動。

■復興マルシェ
新地町、能登島の名産品を販売いたします。

【相馬広域連携協議会（商工会）】
・いいたて雪っ娘ポク しっとりマドレーヌ
・純米吟醸　鹿狼山　　・おこりんぼさんのそーす
・いちじく甘露煮　　・いちじくパウンドケーキ
・ネギ南蛮味噌　　・和梨ジュース　　など

【HAMADOORI CIRCLE PROJECT】
・すえつぎCAFÉ　常磐もののゴロっとカレー
・テロワージュふくしま　ワイン各種　　など

【新地町「うみみどり」　ハンドメイド雑貨】
・刺し子マカロンポーチ　・くまのぬいぐるみ　など

【能登島】
・アオリイカ　　・のとじまの海塩　　など

■まなびのスタンプラリー
館内各会場をまわって学びながらスタンプを４つ集めると
素敵なおみやげをプレゼント。
受付場所：本館2階　クリスタルコート
受付時間：イベント開催時間に準する

※掲載内容は予告無く変更になる場合がございます。※詳細は施設ウェブサイトをご確認ください。※画像はイメージです。

【東京大学フェア】
東京大学柏キャンパス×福島県相馬郡新地町×ららぽーと柏の葉

②東京大学特別講義　ナゾとき！こども科学探検隊

開催期間：2025年9月27日(土)～9月28日(日)　10:00～18:00　※28日は10:00～17:00
開催場所：ららぽーと柏の葉　本館2階クリスタルコート

東京大学柏キャンパスの教授陣による特別講義を開催します。

※各講義の詳細および申込方法はららぽーと柏の葉HPをご確認ください。
※事前予約制　※各回先着20名様（別途立ち見席あり）

また、柏キャンパスの研究所やセンターの概要がわかるポスター展示を行います。

③東京大学グッズの販売

開催期間：2025年9月27日(土)～9月28日(日)　10:00～16:00
開催場所：ららぽーと柏の葉　本館2階クリスタルコート

東京大学のキャンパスライフを支える「東大生協」が今年も出店します。学生や教職員に親しまれているグッズや食品、書籍など、普段は大学内でしか手に入らないアイテムを販売。学びの場から届く、こだわりの品々をぜひお楽しみください。

東京大学大学院新領域創成科学研究科の地域連携拠点、新地町における活動

新領域創成科学研究科は、2019年に新地駅前にまちづくり拠点としての新地アーバンデザインセンター（UDCしんち）を、新地町をはじめとする地元関係者や連携研究機関と共同で開設しました。それ以来、このUDCしんちをプラットフォームとして、新地町役場や地域住民の方々、地元の尚英中学校や、新地スマートエナジー株式会社などの多様な地元参画者と、教育研究機関が連携して取り組むまちづくり事業を推進してきました。町が直面する若者の流出や、再生可能エネルギーの有効活用といった地域社会振興に関する課題を、新地町にかかわりを持つさまざまな立場にある人々がともに考え、行動することで、まちづくりの主体的な担い手として成長し、住みよい豊かな街を次世代に継承していくことが期待されています。

※掲載内容は予告無く変更になる場合がございます。※詳細は施設ウェブサイトをご確認ください。※画像はイメージです。

●三井ショッピングパーク ららぽーと柏の葉について

名称	：三井ショッピングパーク ららぽーと柏の葉
ＵＲＬ	：https://mitsui-shopping-park.com/lalaport/kashiwa/
所在地	：〒277-8518　千葉県柏市若柴175
ＴＥＬ	：04-7168-1588(代)　受付時間：10:00～18:00
運 営	：三井不動産商業マネジメント株式会社（三井不動産株式会社100%出資）
店舗数	：約200店舗
駐車場	：約2,700台
アクセス	：つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス」駅西口前
営業時間	：最新の営業時間は、公式ホームページをご確認ください。 https://mitsui-shopping-park.com/lalaport/kashiwa/info/2129129.html

●東京大学大学院新領域創成科学研究科について

新領域創成科学研究科は、学際性をさらに推し進めた「学融合」という概念で新しい学問領域を創出することを目指して1998年に設置されました。東京大学のすべての部局の全面的な協力のもとに新設された修士・博士課程のみの大学院（独立研究科）です。基盤科学研究系、生命科学研究系、環境学研究系に属する11専攻と、全系にまたがるサステイナビリティ学大学院プログラム、特徴のある研究センターから構成されています。

ナノ、物質・材料、エネルギー、情報、複雑系、生命、医療、環境、国際協力など、伝統的な学問体系では扱いきれなくなった分野横断的な重要課題に取り組むために、各分野をリードする意欲的な教員が集結しました。約200名の教員、約1,600名の大学院学生を擁し、組織の壁を取り払った自由でオープンな研究教育環境の中で多様なメンバーが密に交流・協力し、人類が直面する新しい課題に挑戦していくことが研究科の基本理念です。

●福島県相馬郡新地町について

福島県新地町は、福島県の北東に位置し宮城県との県境にあります。西部は阿武隈山系、東部は太平洋に面し、みかんの香る温暖な地域です。東日本大震災で被災した新地町は環境未来都市に選定され、2018年に東京大学大学院新領域創成科学研究科・新地町・国立環境研究所の3者で環境・エネルギー・まちづくり等に関する協定を締結し、UDCしんち（新地アーバンデザインセンター）を開設しました。それ以来、関係機関や住民等と協働して研究・教育活動およびまちづくり等の活動を行っています。